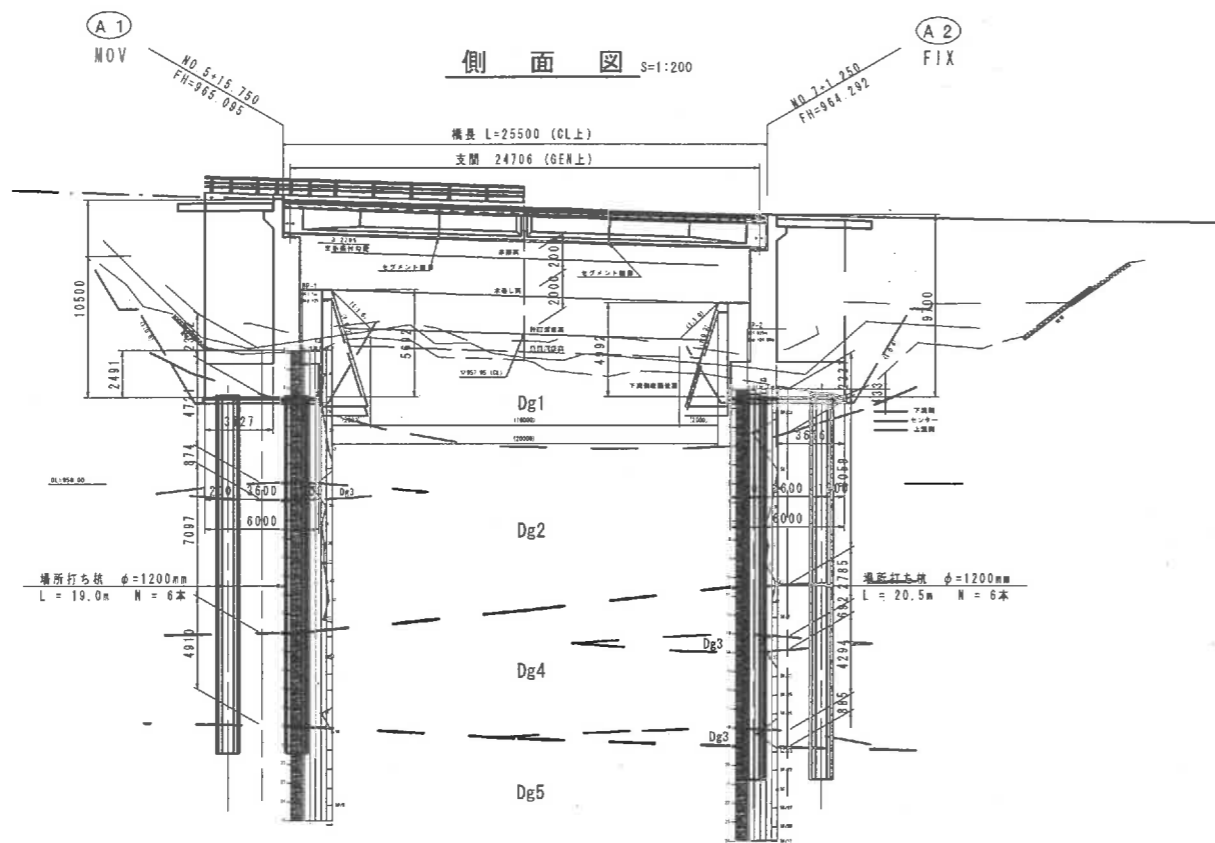
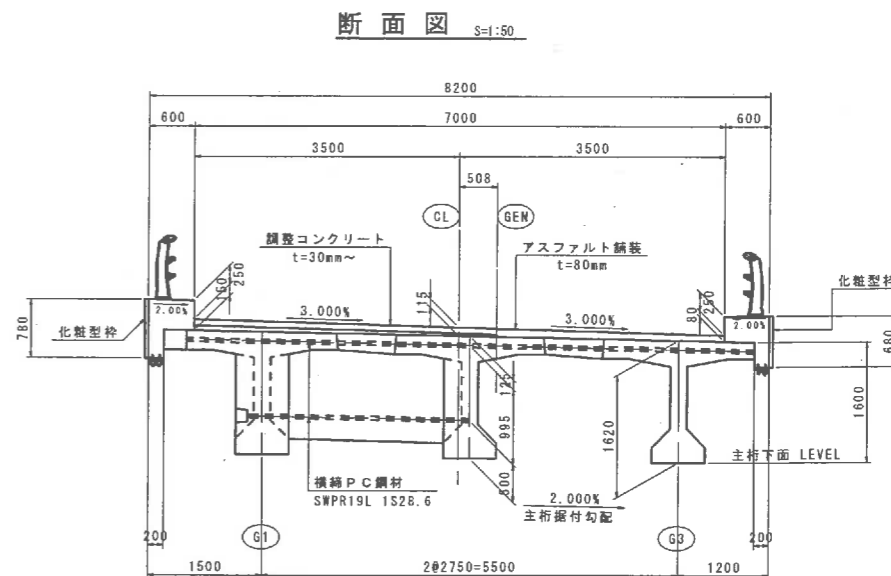
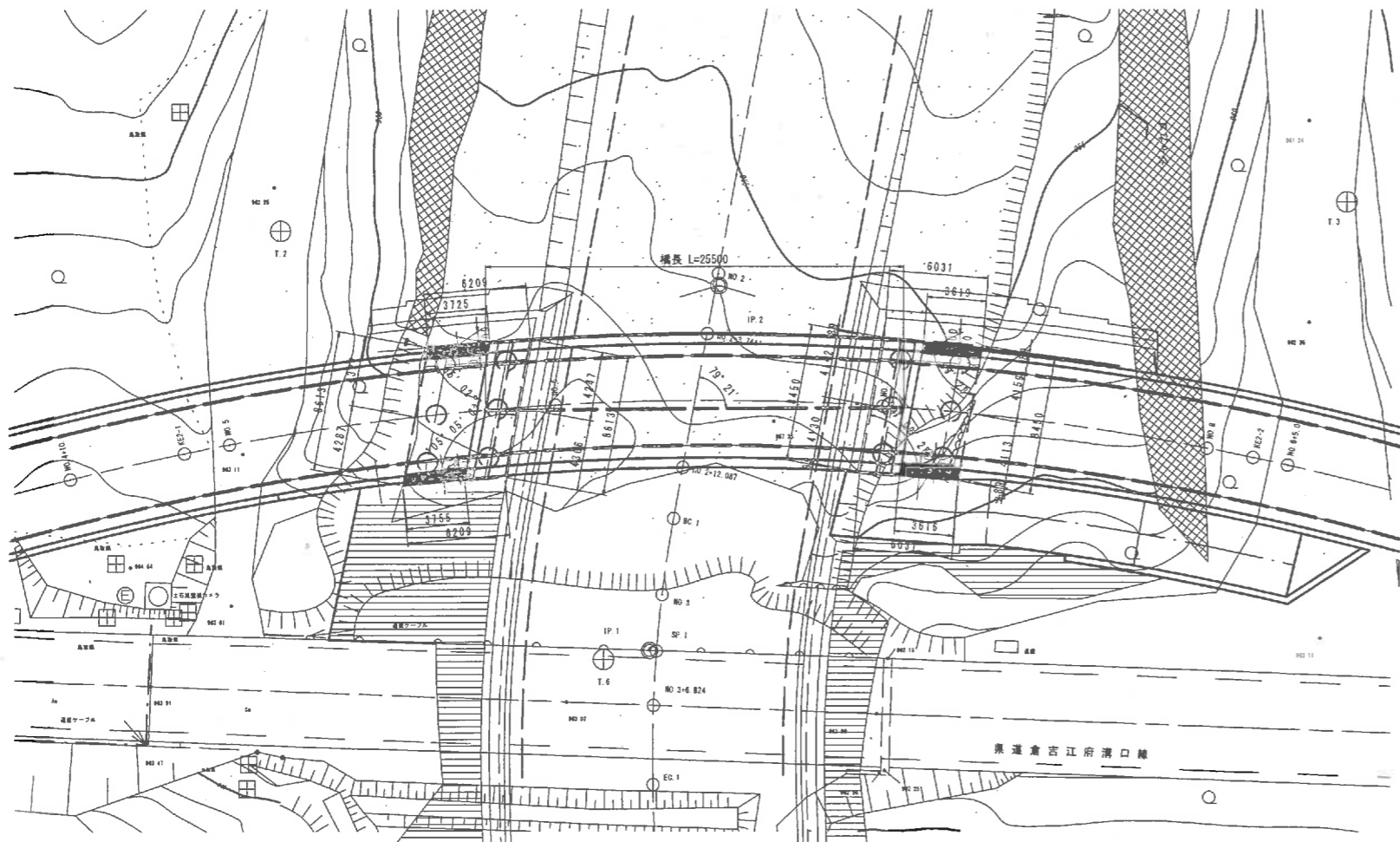


# 二ノ沢 橋梁一般図



平面図 S=1:200



## 設計条件

道路規格	第3種第4級	
形式	ポストテンション方式単軌バルブT桁橋 (セグメント)	
活荷重	B活荷重 大型車交通量 500台未満	
橋長	25.500 m (CL上)	
桁長	25.393 m (GEN方向)	
支間長	24.706 m (GEN方向)	
有効幅員	7.000m (車道)	
斜角	A1 79° 21' 00" (GEN) A2 79° 21' 00" (GEN)	
平面線形	R=160m	
横断勾配	車道部 i=3.0%	
縦断勾配	i=3.469% 1.00% VCR=40m	
設計震度	A1橋台: Kh=0.21 A2橋台: Kh=0.21	
舗装	車道部 アスファルト舗装 t=80mm	
床版	プレストレスコンクリート床版 t=220mm	
高欄	アルミ製車前用防護欄 C種	
支承	固定・可動型ゴム支承	
伸縮装置	鋼製支承 (荷重支持型) NEXCO製品規格	
下部工形式	逆T式橋台	
基礎工形式	場所打ち鉄筋基礎 φ=1200	
使用材料	上部工	コンクリート: 50kN/mm <sup>2</sup> (主桁) 30kN/mm <sup>2</sup> (場所打ち) P.C鋼材: I2S12.7B (主桁) IS21.8 (横絡め)
	下部工	鉄筋: SD345 コンクリート: σ <sub>ck</sub> =24N/mm <sup>2</sup> 表込土: γ=19kN/m <sup>3</sup> φ=30°
	基礎工	鉄筋: SD345 コンクリート: σ <sub>ck</sub> =30N/mm <sup>2</sup>
適用基準	道路橋示方書・同解説 (H24.3) / 日本道路協会 コンクリート道路橋設計便覧 (H6.2) / 日本道路協会 鉄筋設計便覧 (H27.3) / 日本道路協会	

## 設計図書に記載すべき事項

1)	路線名	国道倉吉江府溝口線
2)	架橋位置	西伯郡大山町大山 (二ノ沢)
3)	橋名	(仮称) 二ノ沢橋
4)	責任技術者	奥村 智洋 (アサヒコンサルタント株式会社)
5)	設計年月日	平成28年3月
6)	主な設計条件等	(1) 橋の重要度区分 A種の橋 (2) 地域区分 B2 鳥取県西伯郡 (3) 地盤種別 D種地盤 (4) 雪荷重 車両通行時 $Q_s=1.0\text{KN/m}^2$ 常時 $Q_s=9.5\text{KN/m}^2$ 地震時 $Q_s=4.8\text{KN/m}^2$ (5) 地盤条件 支持層: 洪積砂礫層 Dg5 (液状化層無し) (6) 支承形式 機能分離型支承 (7) 上部工架設方法 架設桁架設 (右岸側からバックで桁搬入) (8) 場所打ち鉄筋 D32 SD345 (9) 維持管理塗装 胸壁及び橋座にコンクリート塗装を計画 (10) 維持管理排水 橋座排水勾配0.3%、地覆天端2.0% (11) 桁運搬の留意点 桁搬入樹水高床: 方向転換・待機所兼待機車庫 (12) 橋台施工留意点 A2橋台の胸壁、上部工架設後コンクリート打設 (13) 涵架物留意点 涵架物詳細は別途成果を参照とすること

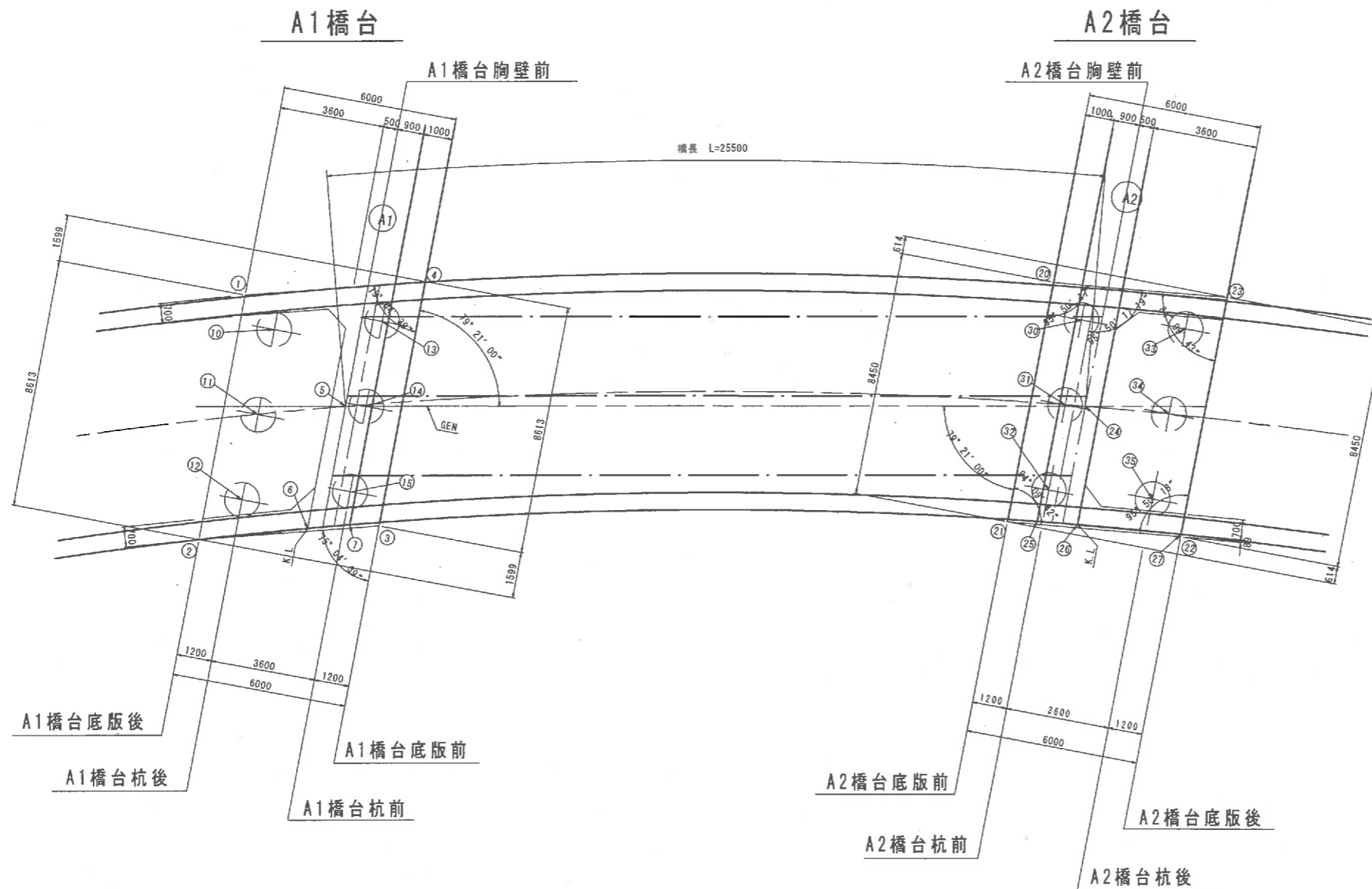
## 参考図

路線名	国道倉吉江府溝口線
位置	鳥取県西伯郡大山町大山 (二ノ沢) 改良工事 (4工区) (防災安全交付金) (ゼロ県債)
図名	二ノ沢橋梁一般図
位置	日野郡江府町吉原
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 葉中の内
令和6年度施行	鳥取県
西部総合事務所米子県土整備局	

縮小率50%

下部工座標図

S=1/100



A1 下部工座標値

格点	X座標	Y座標
1	1066.2842	980.8552
2	1064.7409	989.3288
3	1070.9303	988.8308
4	1072.4736	980.3572
5	1069.7530	984.6912
6	1068.4738	988.9244
7	1069.9209	988.7920

A1 杭座標値

格点	X座標	Y座標
10	1067.2890	982.0409
11	1066.7504	984.9924
12	1066.2129	987.9438
13	1071.0017	981.7422
14	1070.4641	984.6936
15	1069.9265	987.6450

A2 下部工座標値

格点	X座標	Y座標
20	1094.0762	980.2528
21	1092.5621	988.5658
22	1098.5750	989.0374
23	1100.0890	980.7244
24	1095.2256	984.5456
25	1093.5831	988.5409
26	1094.9882	988.6393
27	1098.5909	988.9498

A2 杭座標値

格点	X座標	Y座標
30	1095.0593	981.5523
31	1094.5217	984.5037
32	1093.9842	987.4552
33	1098.6670	981.8352
34	1098.1294	984.7867
35	1097.5918	987.7381

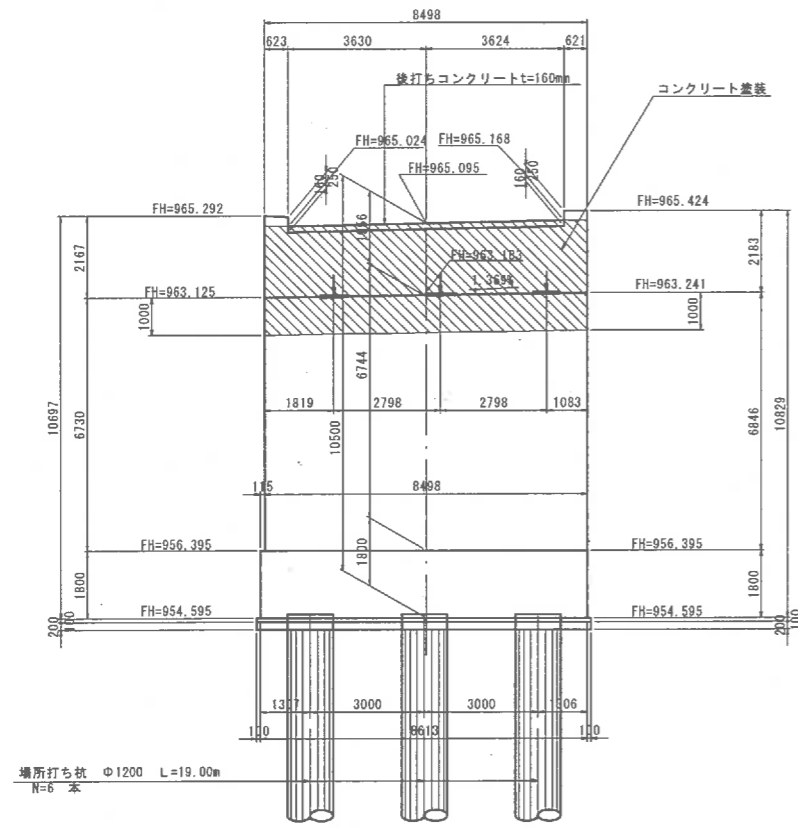
参考図

路線名	県道倉吉江府溝口線		
位置	県道倉吉江府溝口線(二ノ沢)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(ゼロ県債)		
図名	下部工座標図		
位置	日野郡江府町吉原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 葉中の内		
令和6年度施行	鳥取県		
西部総合事務所米子県土整備局			

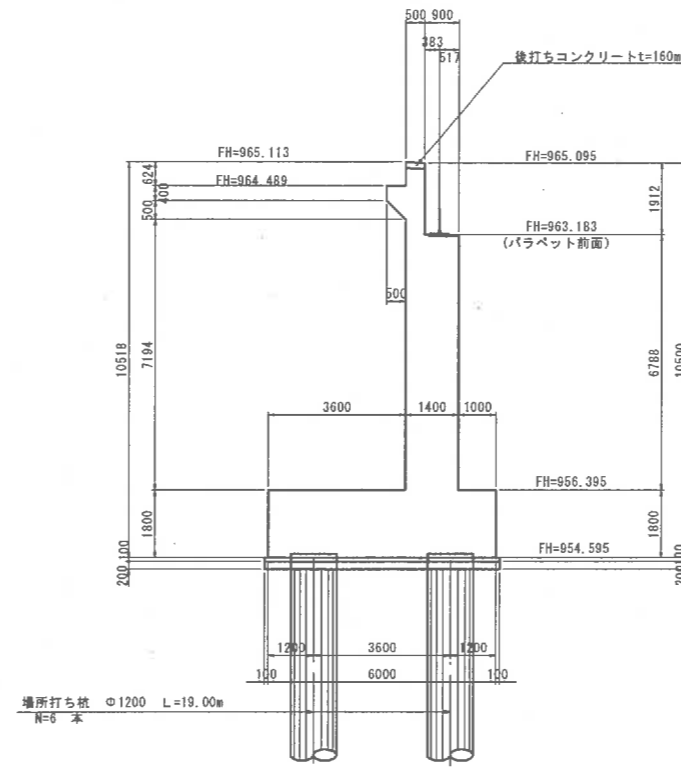
縮小率50%

A1橋台構造図 (1/2) S=1/100

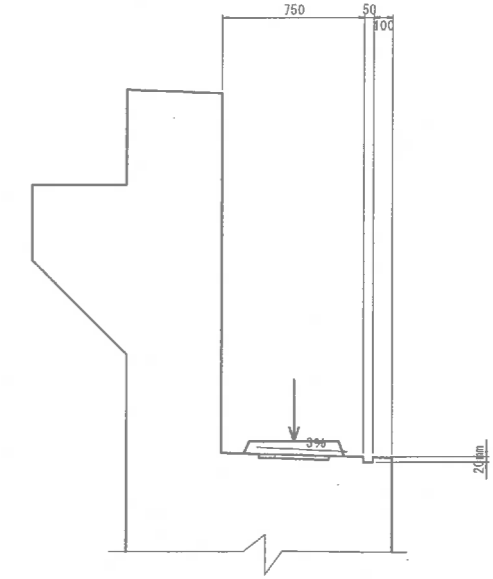
正面図 (パラペット前面)



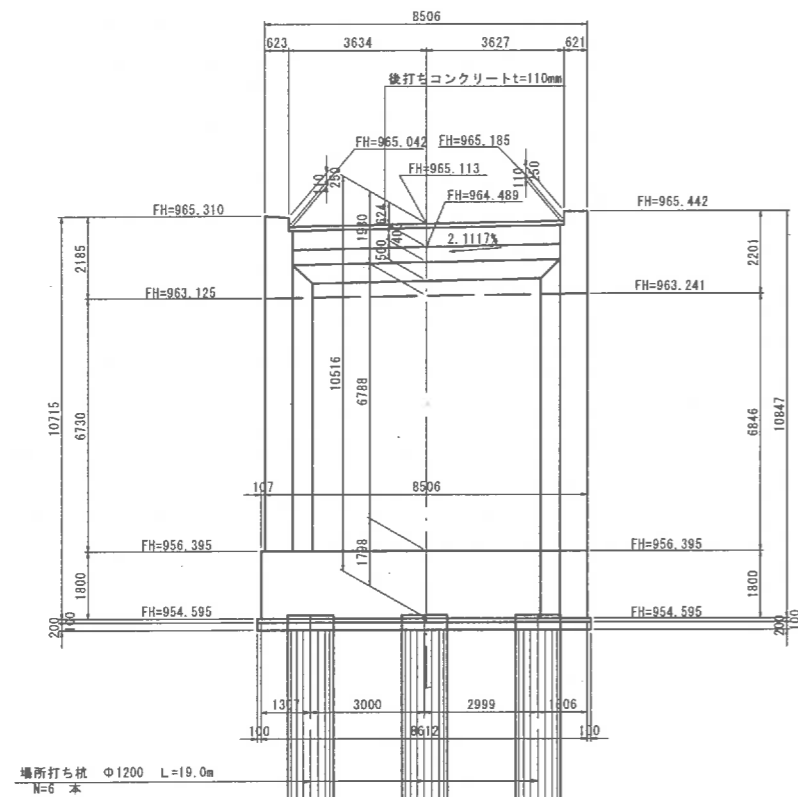
断面図 (道路中心)



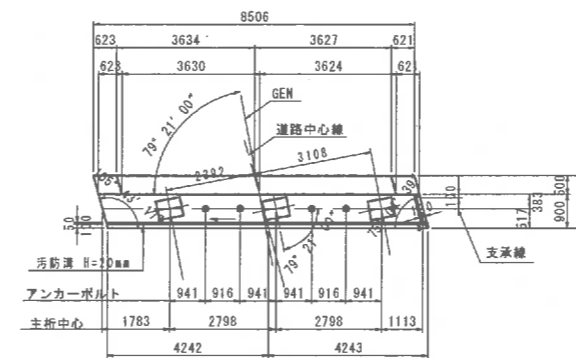
汚防止構造断面図 S=1/20



正面図 (パラペット背面)



支承平面図



支承高表 (支点上)

	S1 (Mov側)		
	G1	G2	G3
橋面計画高 (FH1)	965.144	965.088	965.032
舗装厚 (t1)	0.171	0.153	0.136
桁天端高 (FH2)	964.973	964.935	964.896
桁高 (GH)	1.620	1.620	1.620
レアー厚 (t2)	0.009	0.009	0.009
音厚 (t3)	0.086	0.086	0.086
敷きモルタル天端高 (FH3)	963.258	963.220	963.181
敷きモルタル厚 (t4)	0.042	0.042	0.042
橋座計画高 (FH4)	963.216	963.178	963.139

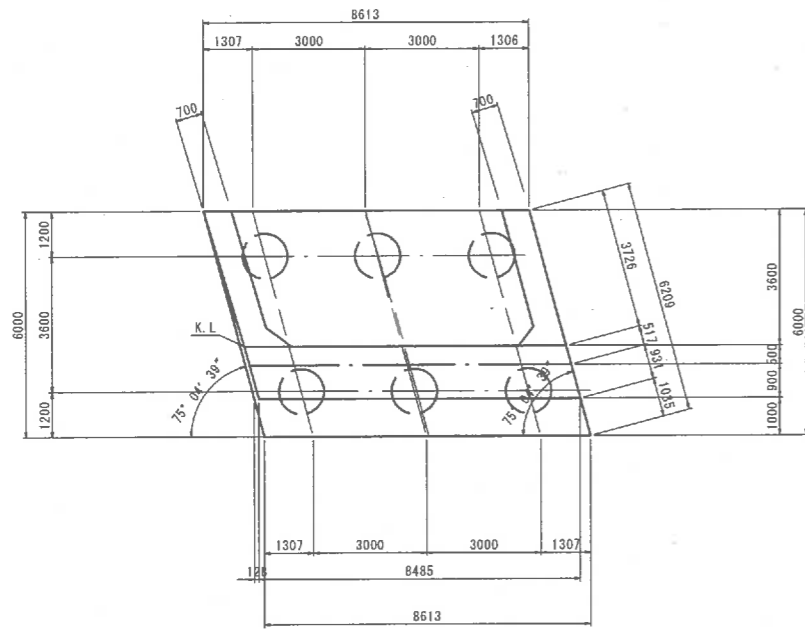
参考図

路線名	県道倉吉江府溝口線		
	県道倉吉江府溝口線(二ノ沢)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(ゼロ県債)		
図名	A1橋台構造図(1/2)		
位置	日野郡江府町吉原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全業中の内		
令和6年度施行	鳥取県		
	西部総合事務所米子県土整備局		

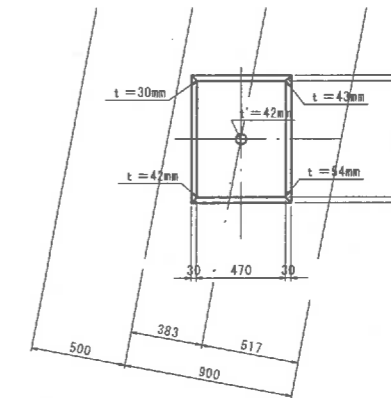
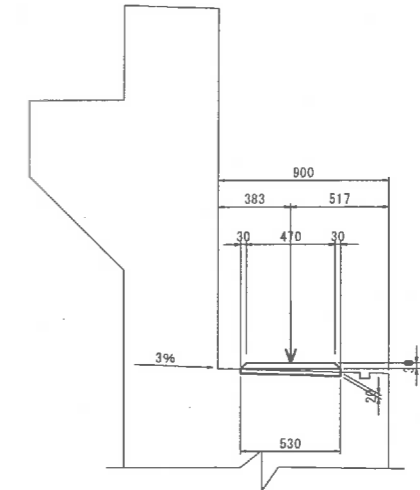
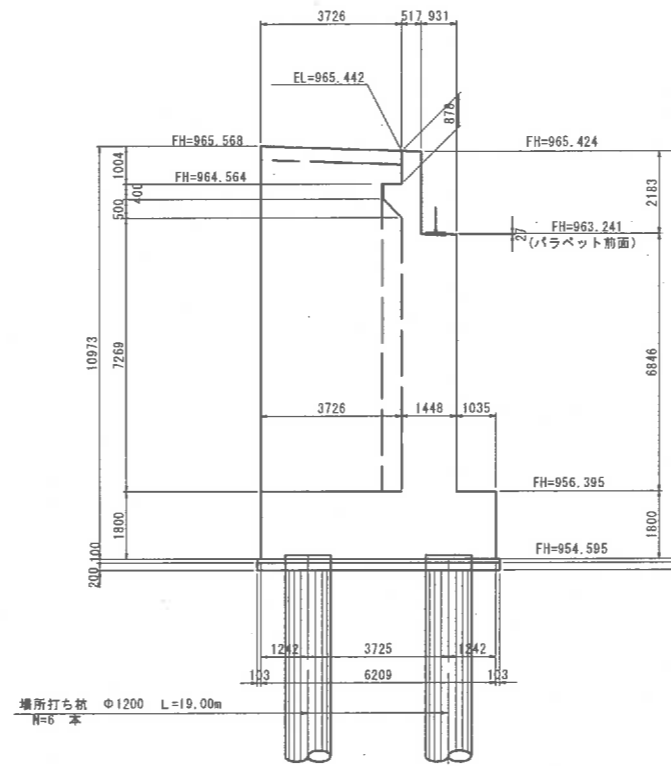
A1橋台構造図 (2/2) S=1/100

敷きモルタル図 S=1/20

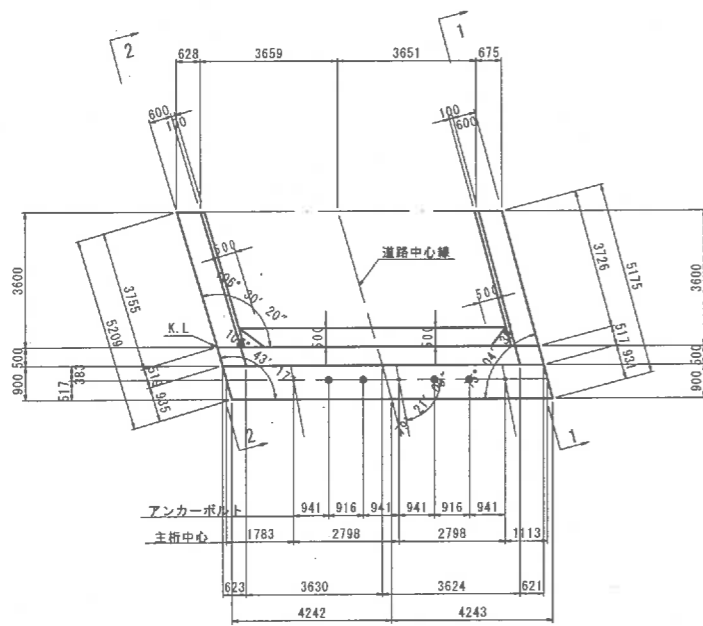
底版平面図



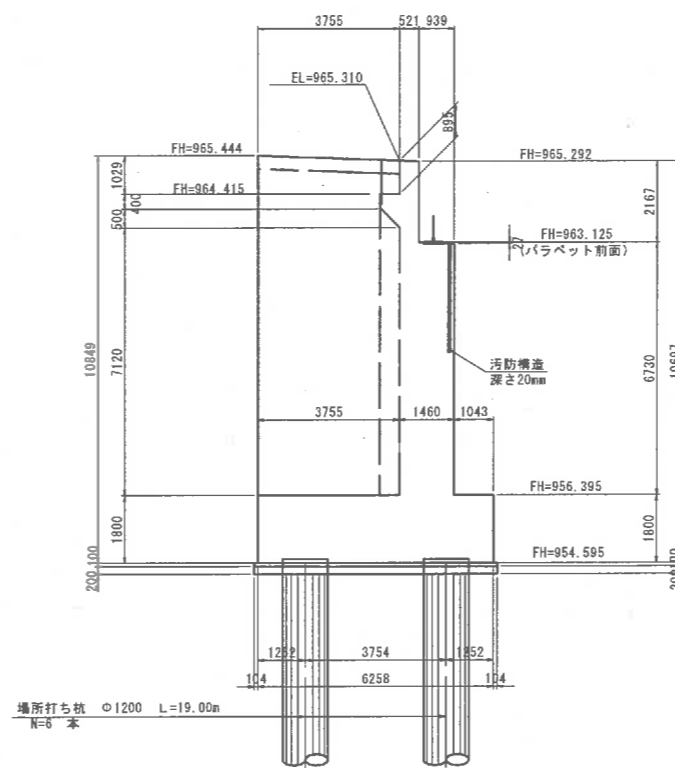
1-1 ウイング断面図



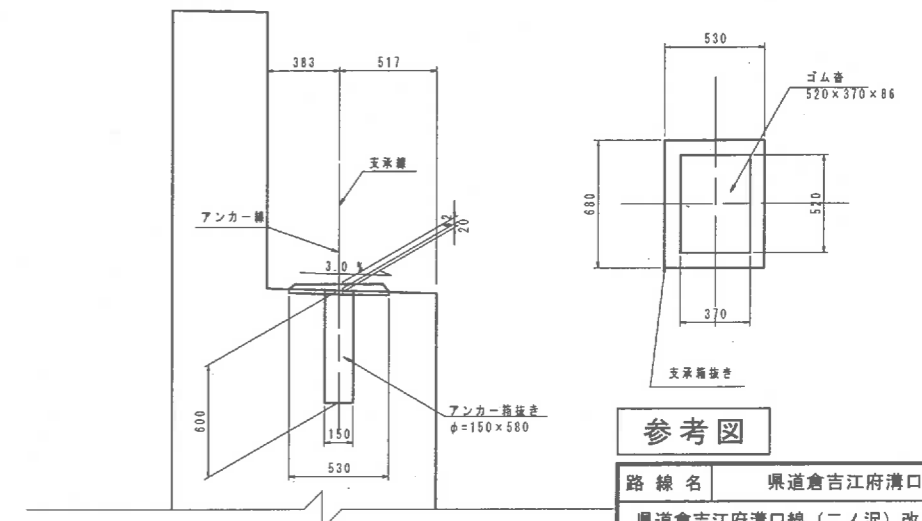
ウイング平面図



2-2 ウイング断面図



支承・アンカー箱抜き詳細図 S=1/20

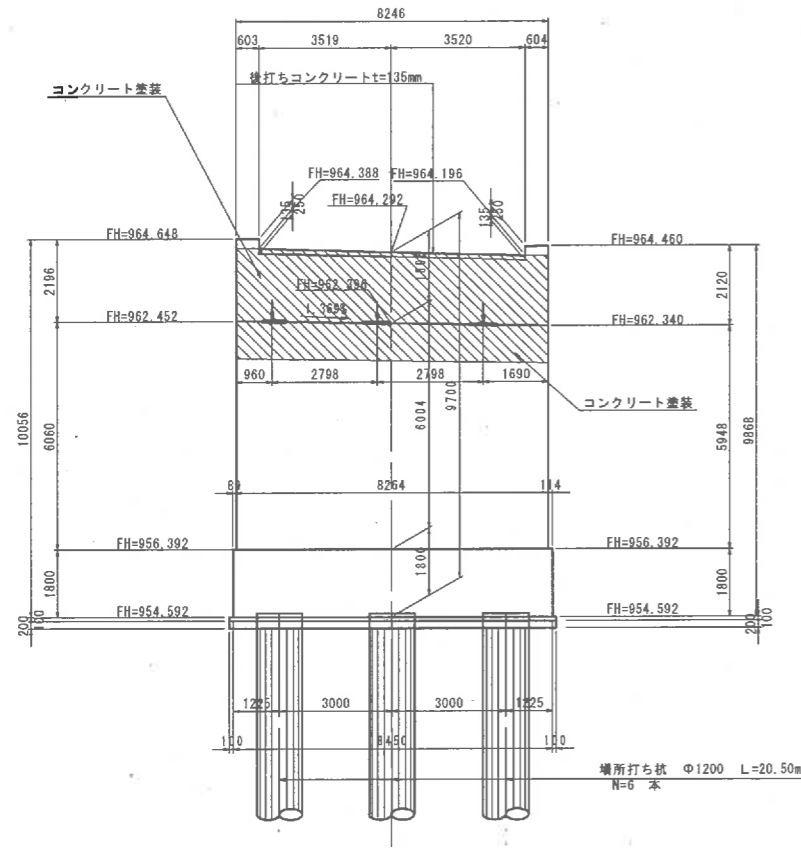


参考図

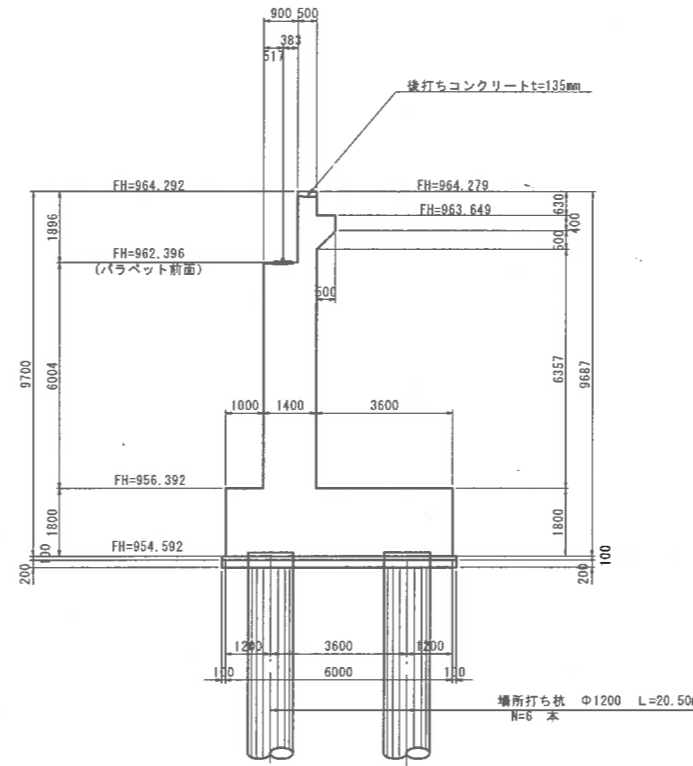
路線名	県道倉吉江府溝口線		
位置	県道倉吉江府溝口線(二ノ沢)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(ゼロ県債)		
図名	A1橋台構造図(2/2)		
位置	日野郡江府町吉原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 葉中の内		
令和6年度施行	鳥取県		
西部総合事務所米子県土整備局			

A2橋台構造図 (1/2) S=1/100

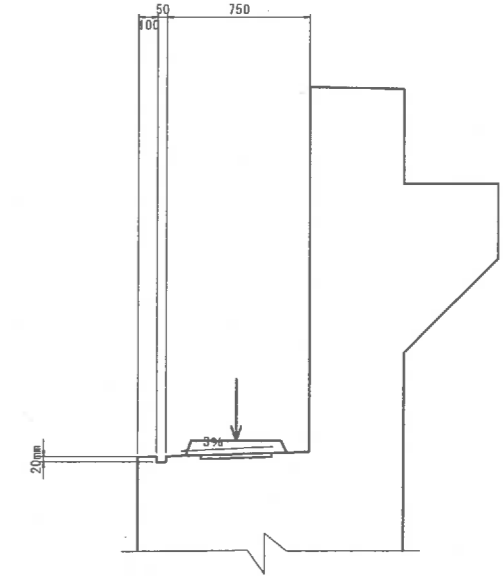
正面図 (パラペット前面)



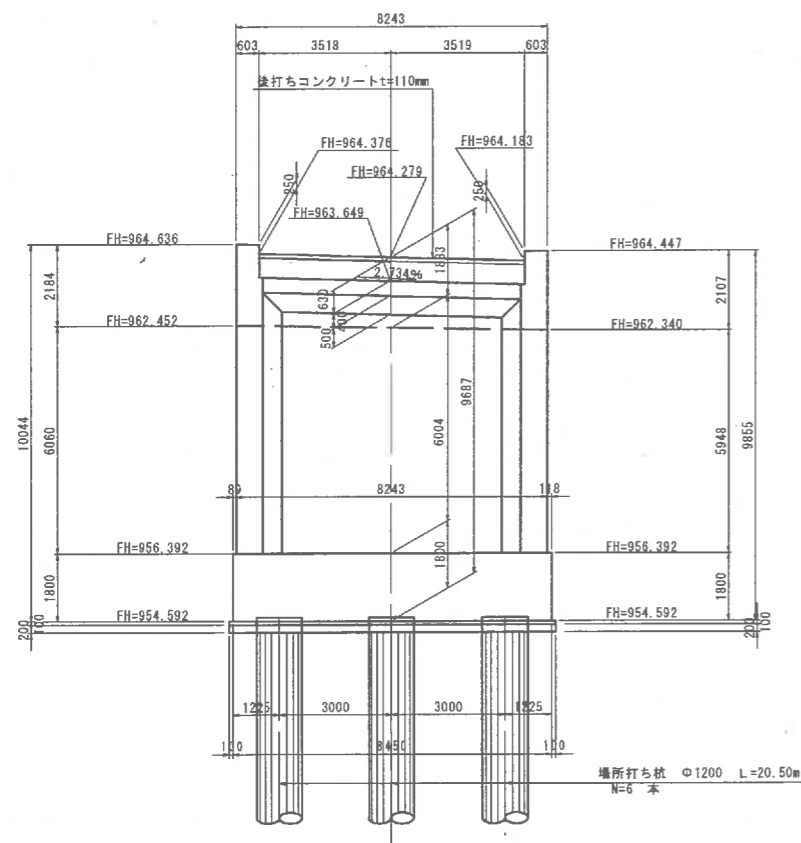
断面図 (道路中心)



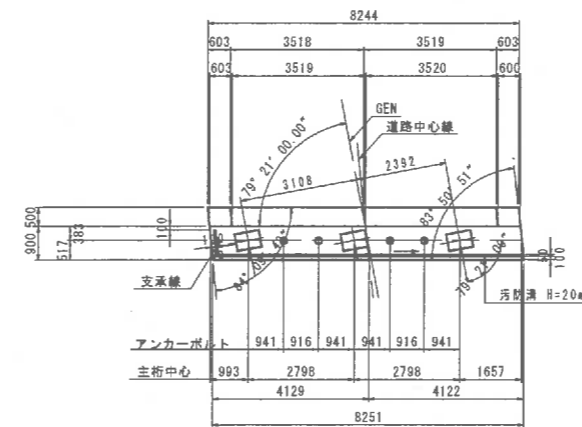
S=1/20 汚防止構造断面図



正面図 (パラペット背面)



支承平面図



支承高表 (支点上)

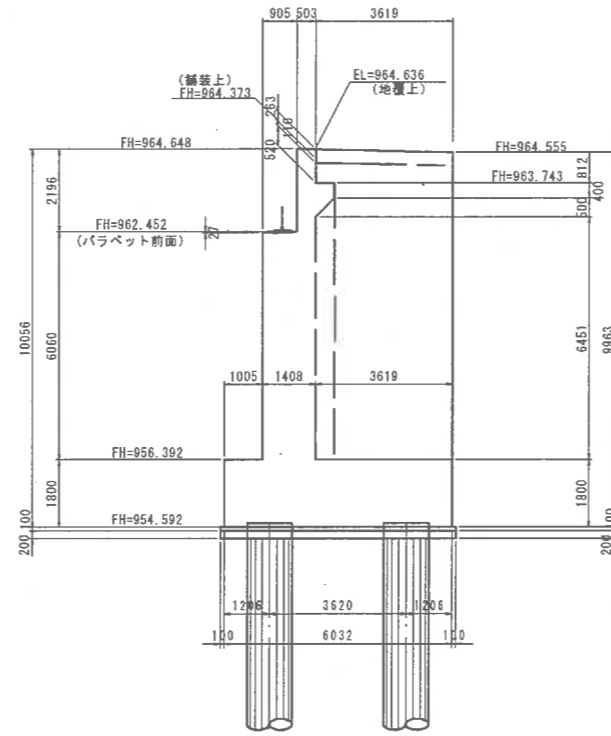
	S2 (Fix側)		
	G1	G2	G3
構面計画高 (FH1)	964.386	964.310	964.234
舗装厚 (t1)	0.211	0.172	0.135
桁天端高 (FH2)	964.176	964.138	964.099
桁高 (GH)	1.620	1.620	1.620
レアー厚 (t2)	0.009	0.009	0.009
音厚 (t3)	0.080	0.080	0.080
敷きモルタル天端高 (FH3)	962.467	962.429	962.390
敷きモルタル厚 (t4)	0.039	0.039	0.039
構底計画高 (FH4)	962.428	962.390	962.351

参考図

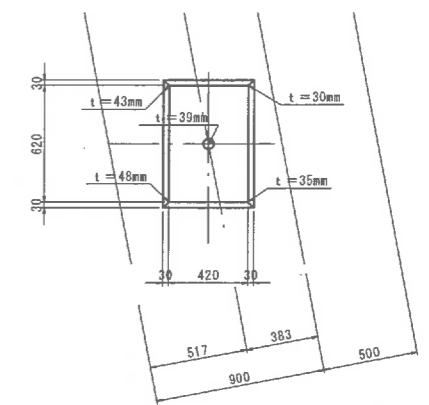
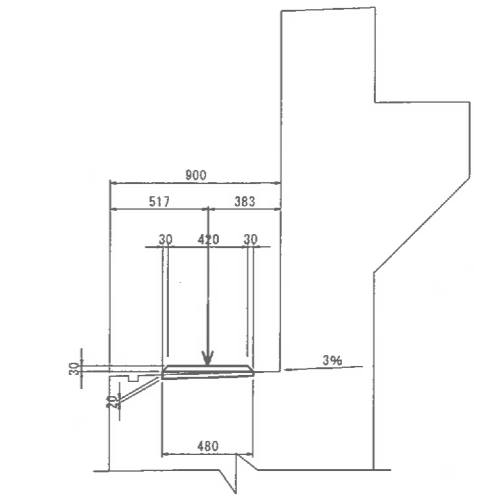
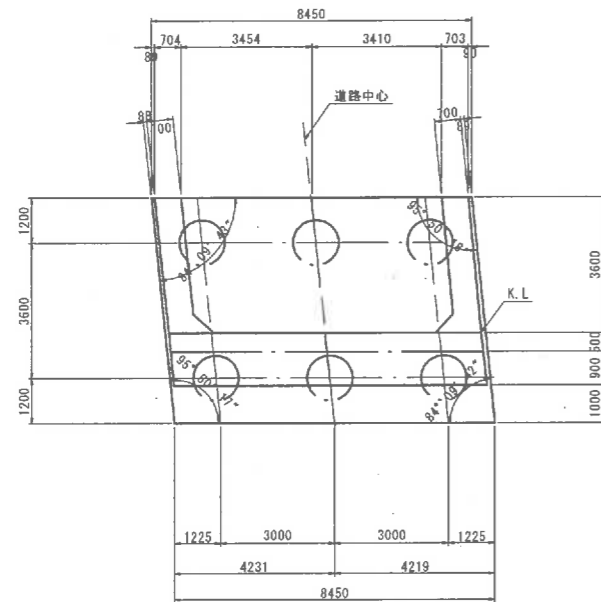
路線名	県道倉吉江府溝口線		
位置	県道倉吉江府溝口線(二ノ沢)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(セロ県債)		
図名	A2橋台構造図(1/2)		
位置	日野郡江府町吉原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全葉中の内		
令和6年度施行	鳥取県		
西部総合事務所米子県土整備局			

### A2橋台構造図 (2/2) S=1/100

1-1 ウイング断面図



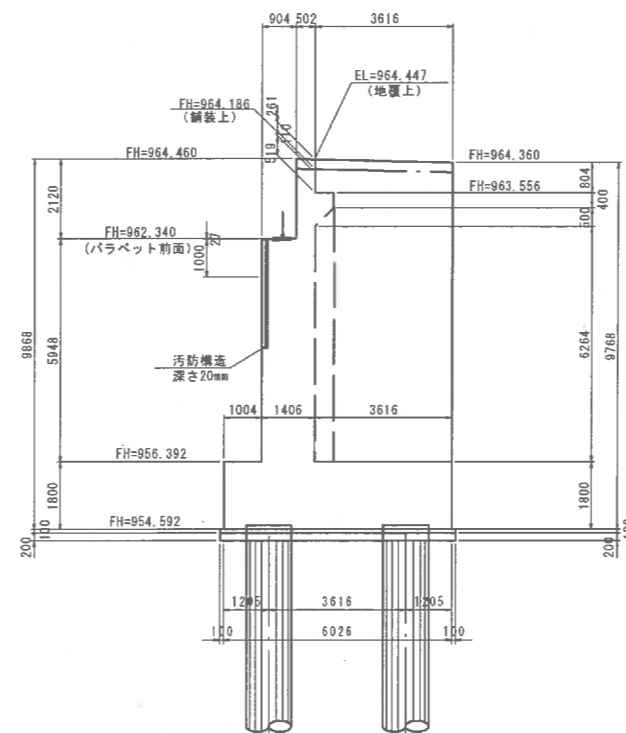
底板平面図



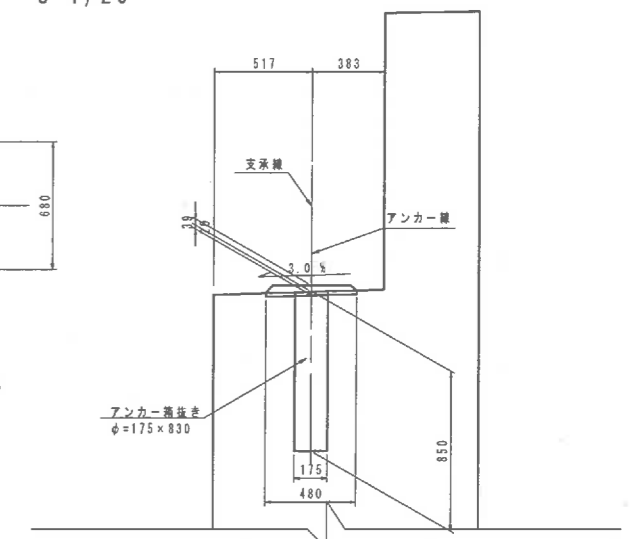
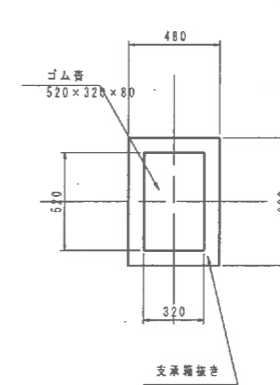
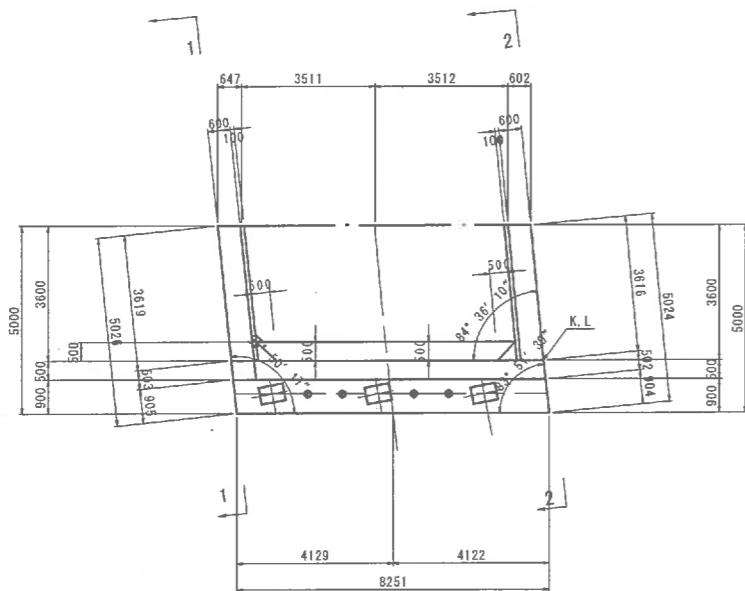
支承・アンカー箱抜き詳細図

S=1/20

2-2 ウイング断面図



ウイング平面図



参考図

路線名	県道倉吉江府溝口線		
位置	県道倉吉江府溝口線 (二ノ沢) 改良工事 (4工区) (防災安全交付金) (ゼロ県債)		
図名	A2橋台構造図 (2/2)		
位置	日野郡江府町吉原		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 葉中の内		
令和6年度施行	鳥取県		
西部総合事務所米子県土整備局			

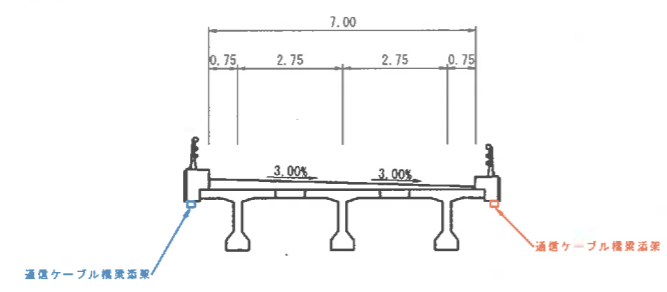
D=20.000

D=20.000

D=5.000

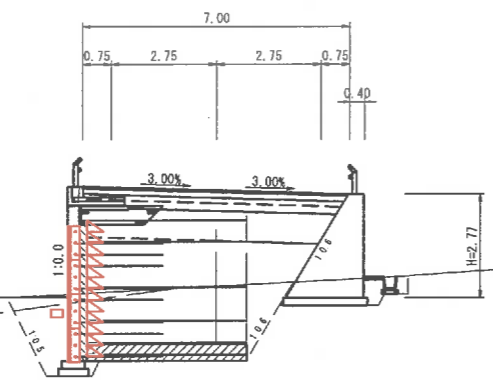
D=20.000

NO. 6  
GP-958.05  
FH-964.95



DL=955.00

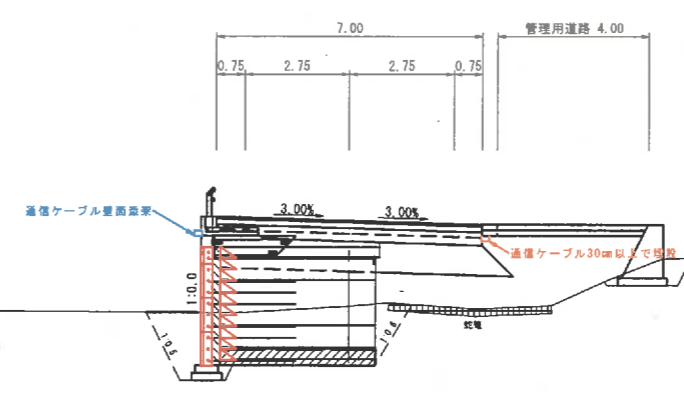
NO. 5  
GP-963.08  
FH-965.64



DL=955.00

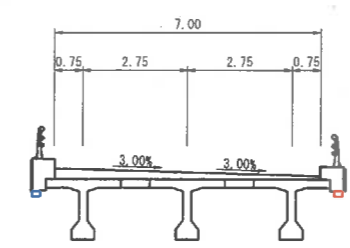
NO. 8	
掘削	-
路床盛土	2.5
路体盛土	9.4
床掘	1.0
埋戻	0.4
補強土床掘	9.7
補強土埋戻	1.8
補強土盛土A	7.0
補強土盛土B	2.5
切土法面整形	-
表層	7.00
上層路盤	7.00
下層路盤	6.95
凍上抑制	5.90
補足材 (M-40)	-
補足材 (RC-40)	-
オーバーレイ	-
車道As安定処理	-
As取壊し	-
Co取壊し	-
石積取壊し	-

NO. 8  
GP-951.65  
FH-953.94



DL=955.00

NO. 7  
GP-956.21  
FH-964.32



DL=955.00

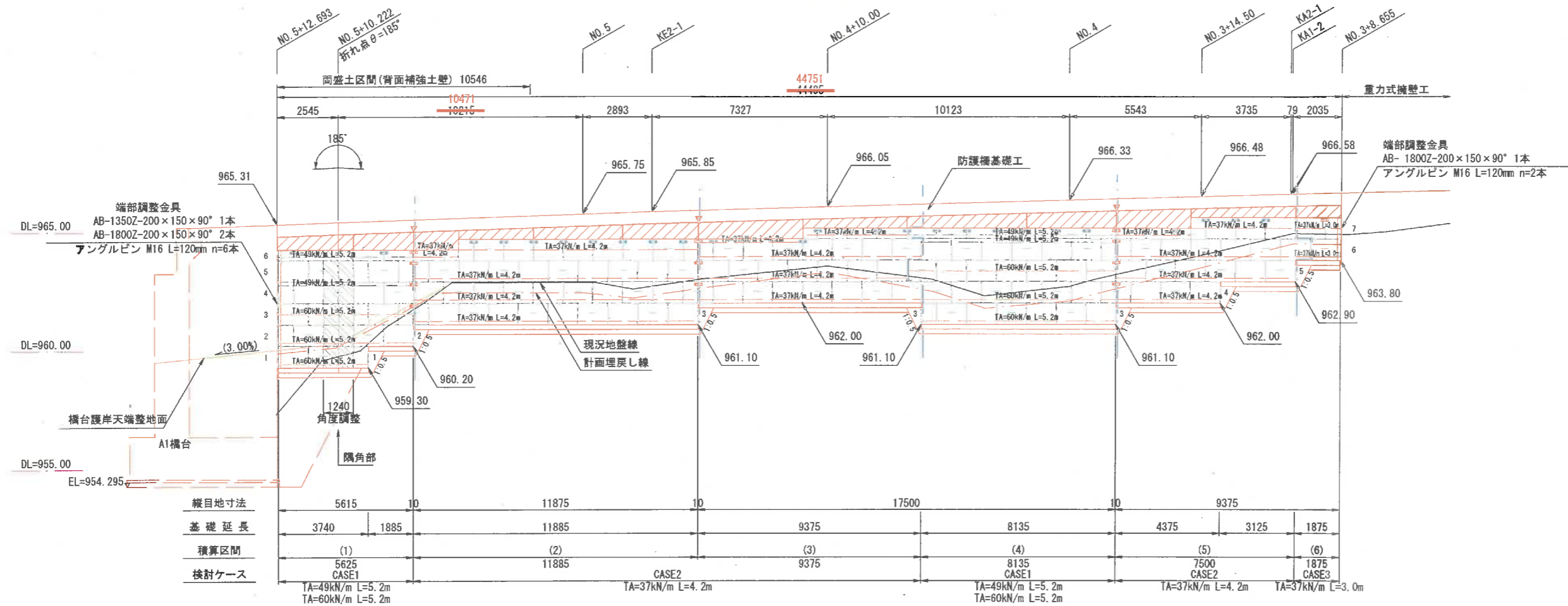
参考図

NO. 5~NO. 8	
路線名	県道倉吉江府溝口線
県道倉吉江府溝口線(二ノ沢)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(ゼロ県債)	
図名	横断面図 (其の 3/6)
位置	日野郡江府町吉原
縮尺	S=1:100 単位 M
図号	全 葉中の内
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所 米子県土整備局	

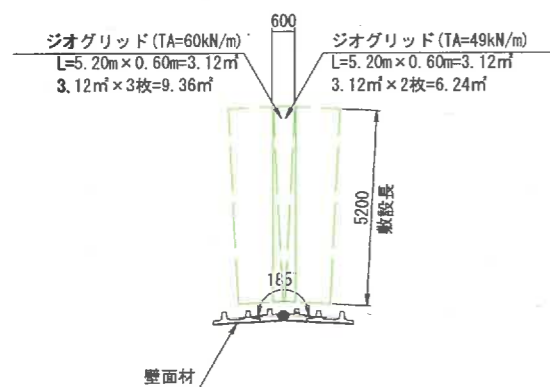
縮小率50%

補強土壁工展開図 縮尺 1:100

(左側 NO. 3+8.7~NO. 5+12.7)



隅角部敷設図



材料表

凡例	名称	規格	単位	数量	寸法	特記事項
[Symbol]	壁面パネル	AP-900AR	個	111.0	H900×W1250	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900VH	個	16.0	H450×W1250	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900WH	個	25.0	H900×W625	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900SQ	個	4.0	H450×W625	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900CR-L (R)	set	5.0	H900×W530	角度調整パネル
[Symbol]	壁面パネル	AP-900CH-L (R)	set	1.0	H450×W530	角度調整パネル
[Symbol]	鋼製枠		set	253.0		
[Symbol]	内壁安定ジオテキスタイル		set	562.0		
[Symbol]	パネル付属部材	標準タイプ	set	107.0		
[Symbol]	パネル付属部材	角度調整タイプ	set	6.0		
[Symbol]	縦目地シート		枚	123.0		
[Symbol]	連結プレート		set	42.0		
[Symbol]	ボルト		個	68.0		
[Symbol]	くさび		個	69.0		
[Symbol]	端部調整金具	AB-900Z-200*150*90°	本	0.0		
[Symbol]	端部調整金具	AB-1350Z-200*150*90°	本	1.0		
[Symbol]	端部調整金具	AB-1800Z-200*150*90°	本	3.0		
[Symbol]	アングルピン	AB-M16*120B. M. W	本	8.0		
[Symbol]	ジオグリッド	TA=37kN/m	m <sup>2</sup>	457.5		
[Symbol]	ジオグリッド (主補強材)	TA=49kN/m	m <sup>2</sup>	149.8		
[Symbol]	ジオグリッド	TA=60kN/m	m <sup>2</sup>	209.2		
[Symbol]	水平排水材	W=300, t=4	m	329.0		
[Symbol]	天端排水材	不織布 目付量300g/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	220.4		
[Symbol]	連結金具	ジオグリッド連結金具	set	62.0		
[Symbol]	固定ピン	D10*200	本	359.0		
[Symbol]	吸出し防止材 (基盤排水工用)	不織布	m <sup>2</sup>	198.8		

特記事項

NETIS:KK-020061-V 建設技術審査証明:第1103号

補強土壁工	面状補強材 (ジオテキスタイル) を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した二重壁構造を有する盛土構造物を構築する				
盛土材料	<table border="1"> <tr> <td>土質条件</td> <td>単位体積重量 <math>\gamma=19.0\text{kN/m}^3</math></td> <td>粘着力 <math>c=0.0\text{kN/m}^2</math></td> <td>せん断抵抗角 <math>\phi=30.0^\circ</math></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する</li> <li>発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う</li> <li>盛土材料は適切な含水比とする</li> </ul>	土質条件	単位体積重量 $\gamma=19.0\text{kN/m}^3$	粘着力 $c=0.0\text{kN/m}^2$	せん断抵抗角 $\phi=30.0^\circ$
土質条件	単位体積重量 $\gamma=19.0\text{kN/m}^3$	粘着力 $c=0.0\text{kN/m}^2$	せん断抵抗角 $\phi=30.0^\circ$		
基礎地盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする</li> <li>床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する</li> <li>橋台背部の埋め戻し部は地盤改良土とし、補強土の不等沈下の恐れが無いこととする</li> <li>橋台背面埋戻し定数 (<math>\gamma=19\text{kN/m}^3, C=0\text{kN/m}^2, \phi=30^\circ</math>)</li> </ul>				
排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な排水処理を施す</li> <li>予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う</li> <li>施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う</li> <li>補強土壁の底盤は排水対策を施す</li> </ul>				
壁面材	<ul style="list-style-type: none"> <li>補強盛土体を長期的に保護でき、排水層の碎石による土圧に対して十分な耐力をもち、耐久性に優れた長期の使用が可能な材料を用いる</li> </ul>				
補強材	<ul style="list-style-type: none"> <li>補強材は(財)土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする</li> <li>補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする</li> <li>礫材等による補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする</li> <li>耐食性に優れた材料とする</li> <li>隣接する補強材の敷設は、最大3cm程度の間隔とする (ラップする必要はない)</li> <li>曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める</li> </ul>				
安全管理	労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する				

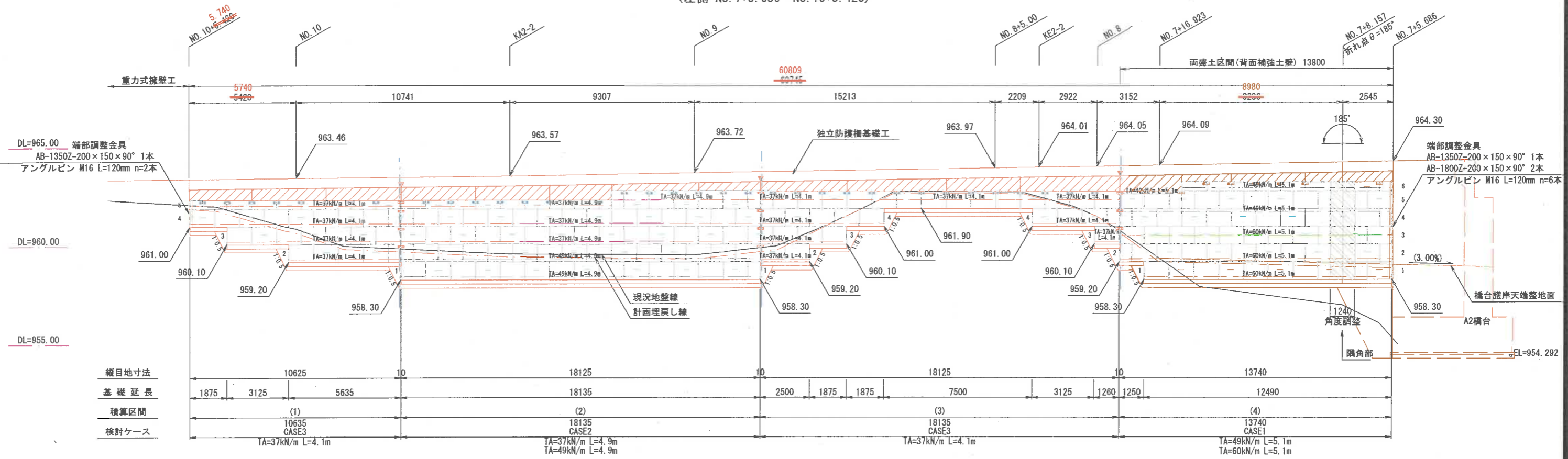
参考図

区間2

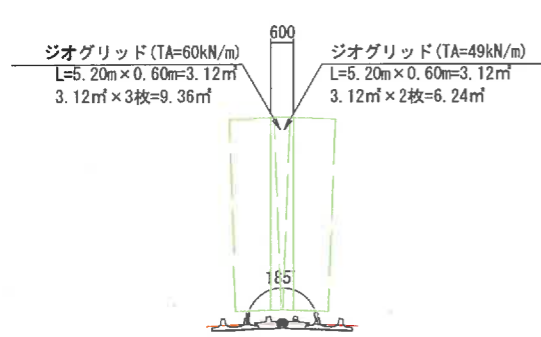
路線名	県道倉吉江府溝口線
区間	県道倉吉江府溝口線 (二ノ沢) 改良工事 (4工区) (防災安全交付金) (ゼロ県債)
図名	補強土壁工展開図 (左側 NO. 3+8.7~NO. 5+12.7)
位置	日野郡江府町吉原
縮尺	図示 単位 M、MM
図号	全 葉中の内
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所	米子県土整備局



補強土壁工展開図 縮尺 1:100  
(左側 NO. 7+5.686~NO. 10+5.420)



隅角部敷設図



材料表

凡例	名称	規格	単位	数量	寸法	特記事項
[Symbol]	壁面パネル	AP-900AR	個	151.0	H900×W1250	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900VH	個	23.0	H450×W1250	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900WH	個	23.0	H900×W625	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900SQ	個	3.0	H450×W625	
[Symbol]	壁面パネル	AP-900CR-L(R)	set	5.0	H900×W530	角度調整パネル
[Symbol]	壁面パネル	AP-900CH-L(R)	set	1.0	H450×W530	角度調整パネル
[Symbol]	鋼製枠		set	331.0		
[Symbol]	内壁安定ジオテキスタイル		set	731.0		
[Symbol]	パネル付属部材	標準タイプ	set	140.0		
[Symbol]	パネル付属部材	角度調整タイプ	set	6.0		
[Symbol]	縦目地シート		枚	162.0		
[Symbol]	連結プレート		set	56.0		
[Symbol]	ボルト		個	96.0		
[Symbol]	くさび		個	95.0		
[Symbol]	端部調整金具	AB-1350Z-200×150×90°	本	2.0		
[Symbol]	端部調整金具	AB-1800Z-200×150×90°	本	2.0		
[Symbol]	アングルピン	AB-M16×120B. M. W	本	8.0		
[Symbol]	ジオグリッド	TA=37kN/m	m <sup>2</sup>	541.0		
[Symbol]	ジオグリッド	TA=49kN/m	m <sup>2</sup>	311.4		
[Symbol]	ジオグリッド	TA=60kN/m	m <sup>2</sup>	205.2		
[Symbol]	水平排水材	W=300, t=4	m	428.9		
[Symbol]	天端排水材	不織布 目付量300g/m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	307.2		
[Symbol]	連結金具	ジ'オ'リ'ット' 連結金具	set	79.0		
[Symbol]	固定ピン	D10×200	本	456.0		
[Symbol]	吸出し防止材(構造物背面用)	不織布	m <sup>2</sup>	106.1		
[Symbol]	吸出し防止材(基礎排水工用)	不織布	m <sup>2</sup>	276.9		

特記事項

NETIS:KK-020061-V 建設技術審査証明:第1103号

補強土壁工	面状補強材(ジオテキスタイル)を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した二重壁構造を有する盛土構造物を構築する
盛土材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する</li> <li>・発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う</li> <li>・盛土材料は適切な含水比とする</li> </ul>
基礎地盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>・良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする</li> <li>・床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する</li> <li>・橋台背部の埋戻し部は地盤改良土とし、補強土の不等沈下の恐れが無いこととする。</li> <li>・橋台背面埋戻し定数(γ=19kN/m<sup>3</sup>, C=0kN/m<sup>2</sup>, φ=30°)</li> </ul>
排水工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な排水処理を施す</li> <li>・予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う</li> <li>・施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う</li> <li>・補強土壁の底盤は排水対策を施す</li> </ul>
壁面材	・補強盛土体を長期的に保護でき、排水層の砕石による土圧に対して十分な耐力をもち、耐久性に優れ長期の使用が可能な材料を用いる
補強材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補強材は(財)土木研究センターの建設技術審査証明報告書に有する製品とする</li> <li>・補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする</li> <li>・礫材等による補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする</li> <li>・耐食性に優れた材料とする</li> <li>・隣接する補強材の敷設は、最大3cm程度の間隔とする(ラップする必要はない)</li> <li>・曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める</li> </ul>
安全管理	・労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する

参考図

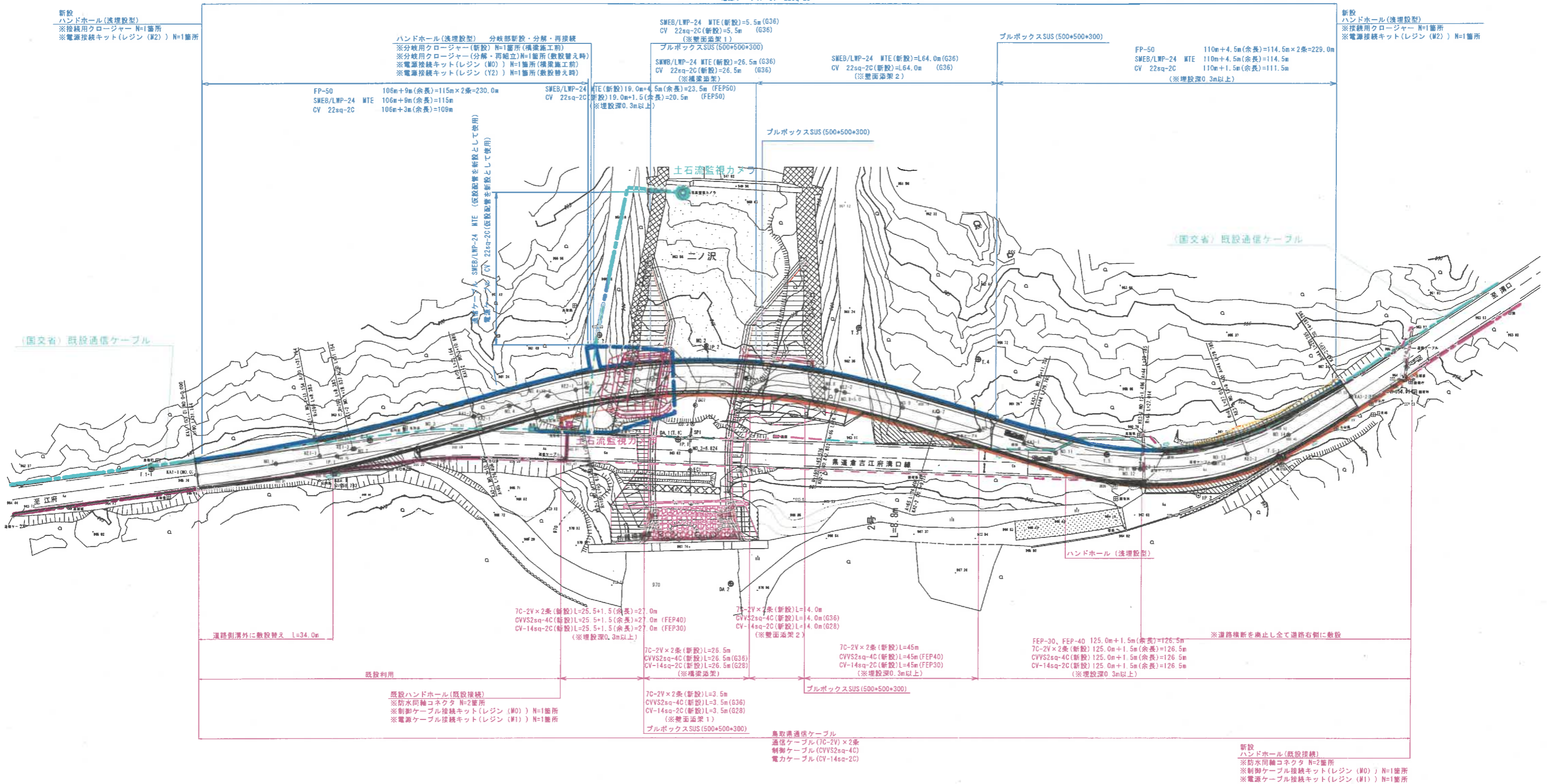
区間3	路線名	県道倉吉江府溝口線
	位置	日野郡江府町吉原
	図名	補強土壁工展開図 (左側 NO. 7+5.7~NO. 10+5.4)
	縮尺	図示 単位 M、MM
	図号	全 葉中の内
	令和 6 年度施行	鳥取県
		西部総合事務所 米子県土整備局



国土交通省通信ケーブル  
通信ケーブル SMEB/LWP-24 MTE  
電源ケーブル CV 22sq-2C

新設  
ハンドホール(淺埋設置)  
※接続用クロージャ N=1箇所  
※電源接続キット(レジジン(M2)) N=1箇所

新設  
ハンドホール(淺埋設置)  
※接続用クロージャ N=1箇所  
※電源接続キット(レジジン(M2)) N=1箇所



施工工程  
①: 橋梁施工に先だてて橋梁部を仮設  
②: 道路施工と併せて管路設置  
③: 道路完成後に切り替え  
※施工時は道路横断部のケーブルを敷鉄板で保護する。  
※橋梁添架部の配管は改良工事(2工区)で実施済

	国交省既設
	国交省廃止
	国交省新設
	鳥取県既設
	鳥取県廃止
	鳥取県新設
	国交省仮設

参考図	
路線名	県道倉吉江府溝口線
県道倉吉江府溝口線(二ノ沢)改良工事(4工区)(防災安全交付金)(ゼロ県債)	
図名	二ノ沢ケーブル移設計画平面図
位置	日野郡江府町吉原
縮尺	S=1:500 単位 M
図号	全 22 葉中の内 19
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所米子県土整備局	
縮小率50%	